

2019年度 高齢者向け住宅等虐待防止研修

「演習1 権利侵害の防止に向けて」グループ発表要約について

(一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会 事務局

一般社団法人 北海道高齢者向け住宅事業者協会（以下本会）では、2014年より本会会員はじめ高齢者向け住宅の運営者、職員を対象とした、標記「虐待防止研修」を実施しており、本年も12月5日（木）に50名の受講者で実施しました。

午前には「講義1：高齢者虐待防止についての基本的理解（講師：ゆいと法律事務所 代表弁護士 石塚 慶如氏）」、「講義2：高齢者に関わる介護職員のためのアンガーマネジメント（講師：一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントファシリテーター 佐久間 明美氏）」より、それぞれ虐待に関する法的な側面と怒りの感情のコントロールの方法についての講義がありました。

午後には「講義3：サービス付き高齢者向け住宅等における高齢者虐待防止について（講師：社会福祉法人 北海長生会 理事長 三瓶 徹氏）」と「演習1：権利侵害の防止に向けて（講師：講義3に同じ）」の講義が行われました。

午後に行われた「演習1」では、まず受講者各自が個人演習シート（別紙1）を使って、所属する事業所の状況进行评估しました。その後、5名～7名でグループA～Hに分かれ、各個人演習評価の平均を算出し、（別紙2）の結果となりました。さらに、各グループで各項目について話し合い後、特に評価平均点が3以下の項目（一覧表のうち、薄く色づけ）についてグループ発表していただきました。

その概要を事務局で（別紙3）の通り纏めましたので、ご覧ください。

個人演習シート

●下記の項目について事業所で取組んでいることからの取組み状況について記載してください。

	項 目	評 価	事業所での取組み
1	規則や理念などを周知し、コンプライアンスに基づくサービスを行っている		
2	地域との交流を行っており、サ高住は地域に開かれている		
3	事業所の上司・同僚とのコミュニケーションがよく図られている		
4	サービス上の苦情や事故などには迅速に対応できている		
5	サービス向上のための研修を年会3回以上行っている		

評価 ⇒ 4. 良くできている 3. できている 2. できていない 1. 全くできていない

グループ演習 評価集計一覧

グループ 項目	グループ A	グループ B	グループ C	グループ D	グループ E	グループ F	グループ G	グループ H
1	2	3	2.6	2.5	2.5	1.5	2.5	2
2	2	2	2.8	3	2.3	3	3.5	2.2
3	3	3	3.3	3	2.5	3	3	3
4	3	4	3.3	3	3	3.5	3.5	3.2
5	4	3	3	3	3.1	3	3.5	3.4

評価 ⇒ 4. 良くできている 3. できている 2. できていない 1. 全くできていない

評価が3以下の平均となった項目

「演習1」グループ発表要約 1/3

Aグループ

1) 平均評価点 2-項目1: 規則や理念などを周知し、コンプライアンスに基づくサービスを行っている

- ・どの事業所でも「理念」はあり、事業所内に掲示もされているが、個々の職員が理念を問われて説明できるまでにはなっていない。

2) 平均評価点 2-項目2: 地域との交流を行っており、サ高住は地域に開かれている

- ・運営懇談会の開催、焼き肉や流しそうめん、コンサートなどのレクリエーションの地域開放を行っている事業所もあるが、評価2の事業所が多かった。
- ・また、昨年の地震があり、災害時に地域から支援がいただけるような体制を整えるべきとの意見もあった。

Bグループ

1) 平均評価点 2-項目2: 地域との交流を行っており、サ高住は地域に開かれている

- ・町内会に会議室を開放したり、避難訓練にも参加いただいている事業所もあるが、事業所から積極的に地域へのアプローチができていない事業所が多く、この平均点となった。

Cグループ

1) 平均評価点 2.6-項目1: 規則や理念などを周知し、コンプライアンスに基づくサービスを行っている

- ・どの事業所でも「理念」があり、掲示物として事業所内に張り出されているが、すべての職員個々レベルで周知・共有されているかという点と疑問があり、この平均点となった。

2) 平均評価点 2.8-項目2: 地域との交流を行っており、サ高住は地域に開かれている

- ・オープン・キャンパスの実施、運営状況報告会の開催事業所もあったが、地域とのレクリエーション開催などができていない事業所があり、この平均点となった。

「演習1」グループ発表要約 2/3

Dグループ

1) 平均評価点 2.5-項目1: 規則や理念などを周知し、コンプライアンスに基づくサービスを行っている

- ・「理念」がない事業所はグループ内ではなかったが、「理念」が周知され、すべての職員個々レベルで共有されているかという疑問があり、この平均点となった。なお、コンプライアンスについては、どの事業所でも守られているとのことだった。

Eグループ

1) 平均評価点 2.3-項目2: 地域との交流を行っており、サ高住は地域に開かれている

- ・できている事業所もあるが、オープン間もない事業所もあり、地域へのアプローチに手がついていない事業所がありこの平均点となった。

2) 平均評価点 2.5-項目3: 事業所の上司・同僚とのコミュニケーションがよく図られている

- ・通常の会話はあるが、「介護」に関する適切なアドバイスがないなどの意見が出された。コミュニケーションがうまくいっている例として、「ありがとうカード」をつくり、同僚、部下に対し、仕事の手伝いをしてくれたなど感謝すべきことがあるとカードを渡すことで、会話のきっかけともなっている事業所もあった。

Fグループ

1) 平均評価点 1.5-項目1: 規則や理念などを周知し、コンプライアンスに基づくサービスを行っている

- ・「理念」はあっても成文化されておらず、そのため周知もされていない事業所があり、この平均点となった。

Gグループ

1) 平均評価点 2.5-項目1: 規則や理念などを周知し、コンプライアンスに基づくサービスを行っている

- ・「理念」はあり、事業所内に掲げたりしているが、必ずしも周知されていないことでこの平均点となった。

「演習 1」グループ発表要約 3/3

Hグループ

1) 平均評価点 2-項目 1 : 規則や理念などを周知し、コンプライアンスに基づくサービスを行っている

- ・グループ内の参加者の所属事業所で「理念」が設定されていないところもある。
- ・「理念」があっても、実際の個別の事象の対応になると迷ってしまい、個人の解釈になりがちである。

2) 平均評価点 2.2-項目 2 : 地域との交流を行っており、サ高住は地域に開かれている

- ・住まいのお祭りやカラオケ大会など地域に開放し、交流を積極的に行っている事業所もあるが、評価 2 の事業所が多かった。

三瓶 徹講師からの講評

- ・共通して「理念」の徹底が弱いのが目立った。
- ・「地域との交流」が弱いことが目立った。「地域との交流」では入居者と地域との交流を主に考える必要がある。

以後、演習で取り上げた 5 つのテーマについての講義が行われて、本研修を修了しました。

以上